



園だより

令和6年度9月2日（月）

社会福祉法人新田保育園 園長 大西 陽子

心地よい場所

先日、研修で聞いた話をします。

「心地よい生活の場とは何か？」それは自分が大事にされていると感じる事。子どものタイミングが大事にされているという事だそうです。具体的には大好きな大人と一緒に声を出し笑い、この人といると安心するなあ、楽しいなあと感じる事。子どもの心の動きに反応する事、受け止める事。「さあ行こう」と手を引っ張るのではなく手を差し出す事。子どもが手を取った時に歩き出す。子どもの手を迎えに行くか待つか？それはほんの1秒の違い。また、大人ができる場が子どもにとっても安心に繋がるというものでした。

では、安心とは何か？それは困った事に出くわした時、何かあった時、共感したり励まし合ったりできる人がいるか？というものでした。何かあったら話せるような相談できる人を1人はつくっておくことが大切とも話していました。中でも今まで兄弟の様な関係で毎日たくさんの時間を過ごしてきた関係も小学校が変わるとなかなか会いつらくなるものだ。子どもたちが自分でネットワークを繋げられるまでは親同士が一定の距離で繋がっておくことが子どもを支える事にもなる。という話はとても印象深かったです。それは、実際、我が子が小学生になって私も強く感じたからです。保育園時代、親が働きながら子どもを育てる。それが当たり前で生活していた自分にとって環境の違う中で子育てをしていて尚且つ、時々しか顔を合わせない学校で出会う親御さんと何かあった時に話せる関係になるという事は私にとっては難題でした。反対に小学校へ行き、それまで特別仲良くしていたわけでもなかった保育園時代を共に過ごしてきた親御さんから「うちの子から聞いたんだけど、〇〇ちゃん大丈夫？保育園の時〇〇だった事があったから気になっちゃって」と声を掛けてもらって救われた事がありました。（それから私にとっては特別な存在です）先日、同窓会で久しぶりに親子集合した時も親戚といえるような、懐かしいとはこういう事を言うんだなという感覚になりました。繋がっておく事は子どもの支えになると同時に、大人にとっても安心な心地よい事なのではないか。と感じた場面でした。

新田保育園も大切にしている事です。保育園生活、我が子以外の子どもに目を向ける場面が沢山あります。6年間一緒に過ごすうちにいつの間にか一緒に育てているような感覚になっていくのかもしれない。誰かと繋がる事。それは今はそんなに必要を感じていなくても、そして人によっては勇気のいる事かもしれない。しかし、親になり人間を育てるという事はコミュニケーションなしでは難しいかもしれません。さあ、という事で、どてのこまつり、皆で繋がっていきましょう！チャンスは保育園時代です。まつりの後はお楽しみもあるようです。保育園が皆さんにとって心地よい場所になれるよう今後も心掛けていきたいです。

（文責：石井あゆみ）

9月の日程



	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	
9月		総合避難訓練・頭ジラメキチャレンジ	健康体育		運動会集会②							運動会集会③	誕生会・敬老会・写真の日					健康診断（0・1歳児）	運動会総練習①								運動会総練習②				